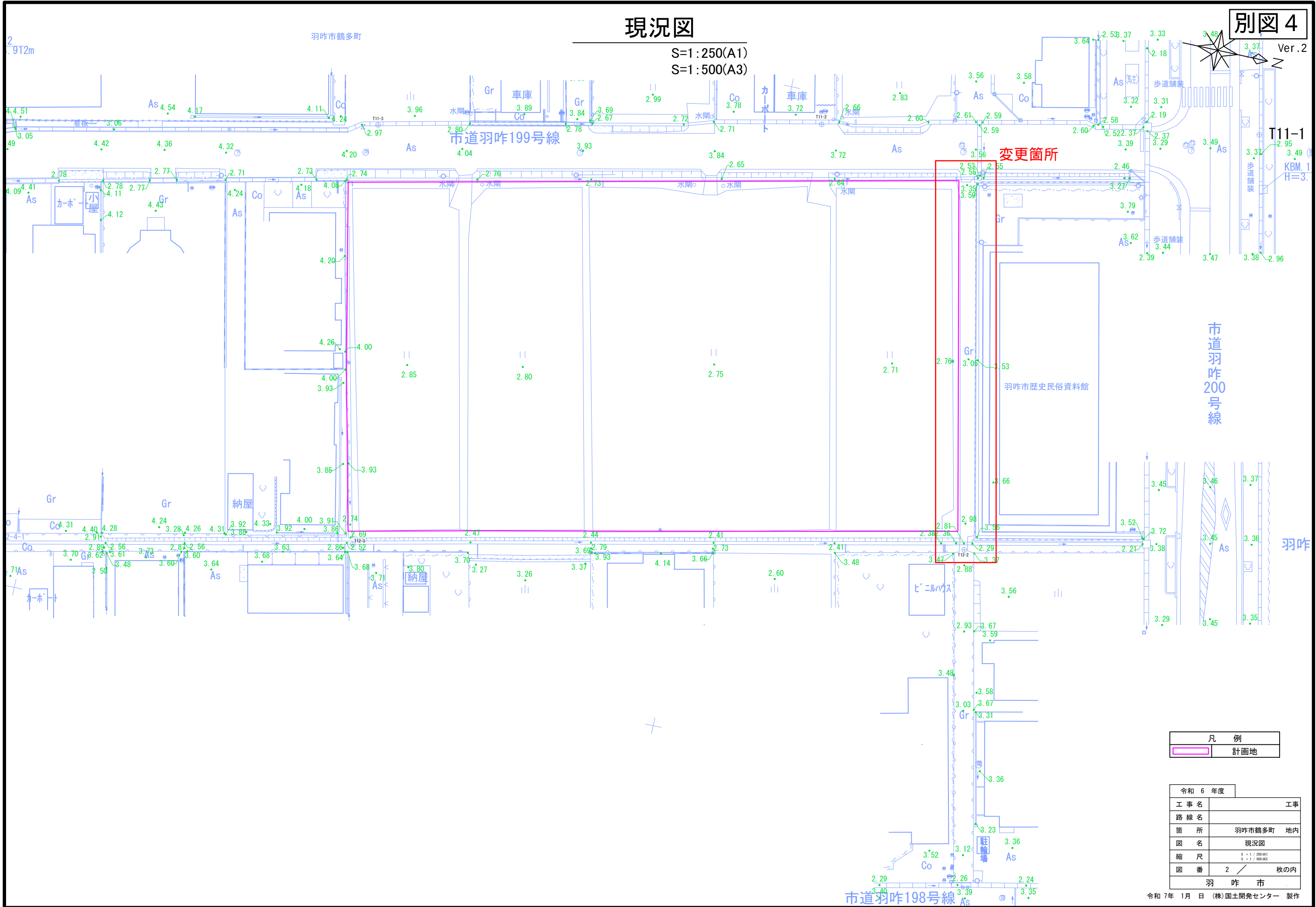


現況図

S=1:250(A1)
S=1:500(A3)

別図 4

Ver.2



凡 例	
	計画地

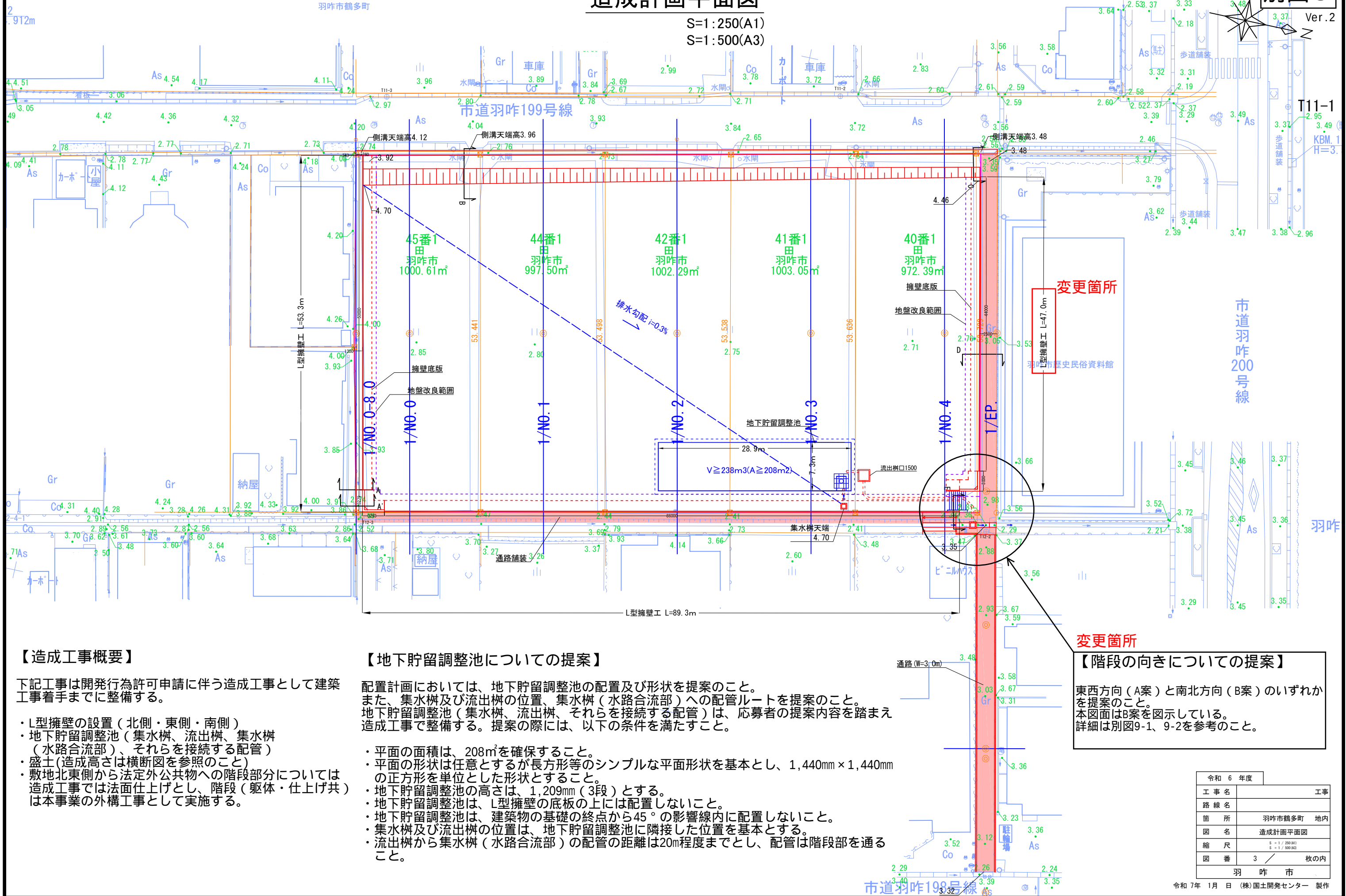
令和 6 年度	
工 事 名	工事
路 線 名	
箇 所	羽咋市鶴多町 地内
図 名	現況図
縮 尺	S = 1 / 250(A1) S = 1 / 500(A3)
図 番	2 / 枚の内
羽 咋 市	

造成計画平面図

S=1:250(A1)
S=1:500(A3)

別図 5

Ver.2



【造成工事概要】

下記工事は開発行為許可申請に伴う造成工事として建築工事着手までに整備する。

- ・L型擁壁の設置（北側・東側・南側）
- ・地下貯留調整池（集水樹、流出樹、集水樹（水路合流部）、それらを接続する配管）
- ・盛土（造成高さは横断面を参照のこと）
- ・敷地北東側から法定外公共物への階段部分については造成工事では法面仕上げとし、階段（躯体・仕上げ共）は本事業の外構工事として実施する。

【地下貯留調整池についての提案】

配置計画においては、地下貯留調整池の配置及び形状を提案のこと。また、集水樹及び流出樹の位置、集水樹（水路合流部）への配管ルートを提案のこと。地下貯留調整池（集水樹、流出樹、それらを接続する配管）は、応募者の提案内容を踏まえ造成工事で整備する。提案の際には、以下の条件を満たすこと。

- ・平面の面積は、208㎡を確保すること。
- ・平面の形状は任意とするが長方形等のシンプルな平面形状を基本とし、1,440mm×1,440mmの正方形を単位とした形状とすること。
- ・地下貯留調整池の高さは、1,209mm（3段）とする。
- ・地下貯留調整池は、L型擁壁の底板の上には配置しないこと。
- ・地下貯留調整池は、建築物の基礎の終点から45°の影響線内に配置しないこと。
- ・集水樹及び流出樹の位置は、地下貯留調整池に隣接した位置を基本とする。
- ・流出樹から集水樹（水路合流部）の配管の距離は20m程度までとし、配管は階段部を通ること。

変更箇所

【階段の向きについての提案】

東西方向（A案）と南北方向（B案）のいずれかを提案のこと。本図面はB案を図示している。詳細は別図9-1、9-2を参考のこと。

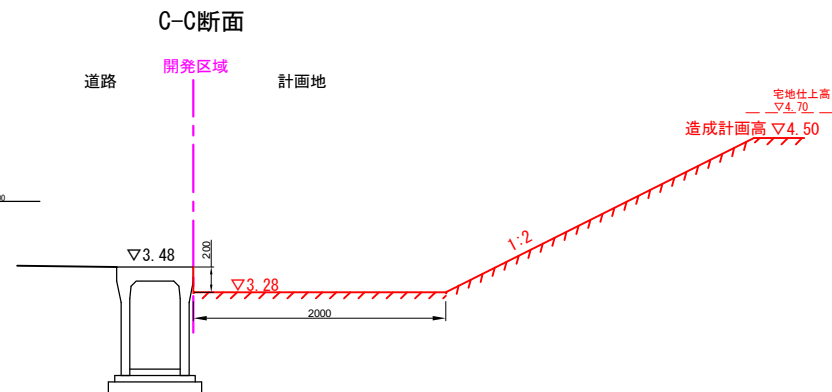
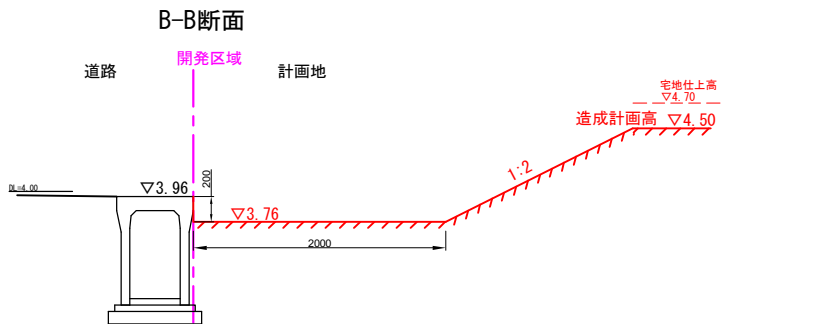
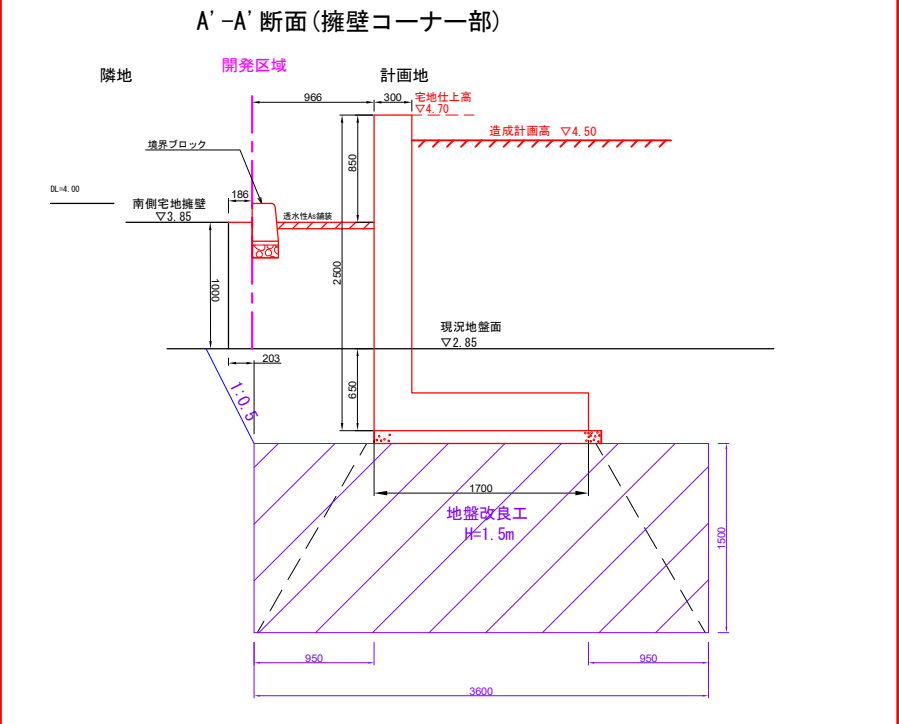
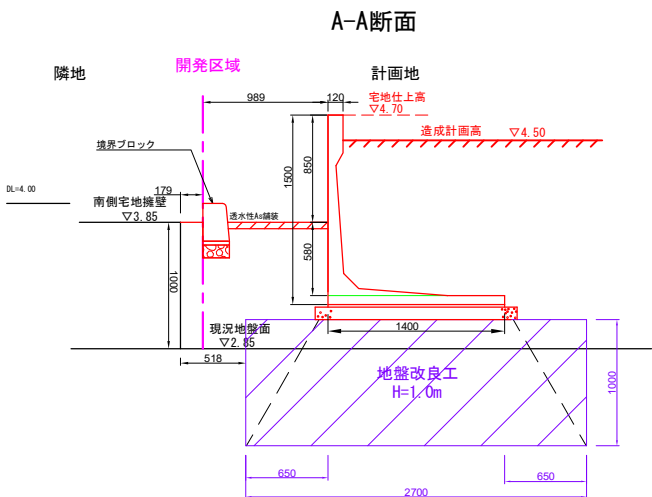
令和 6 年度	
工 事 名	工事
路 線 名	
箇 所	羽咋市鶴多町 地内
図 名	造成計画平面図
縮 尺	S = 1 / 250(A1) S = 1 / 500(A3)
図 番	3 / 枚の内
羽 咋 市	

区域境界断面図

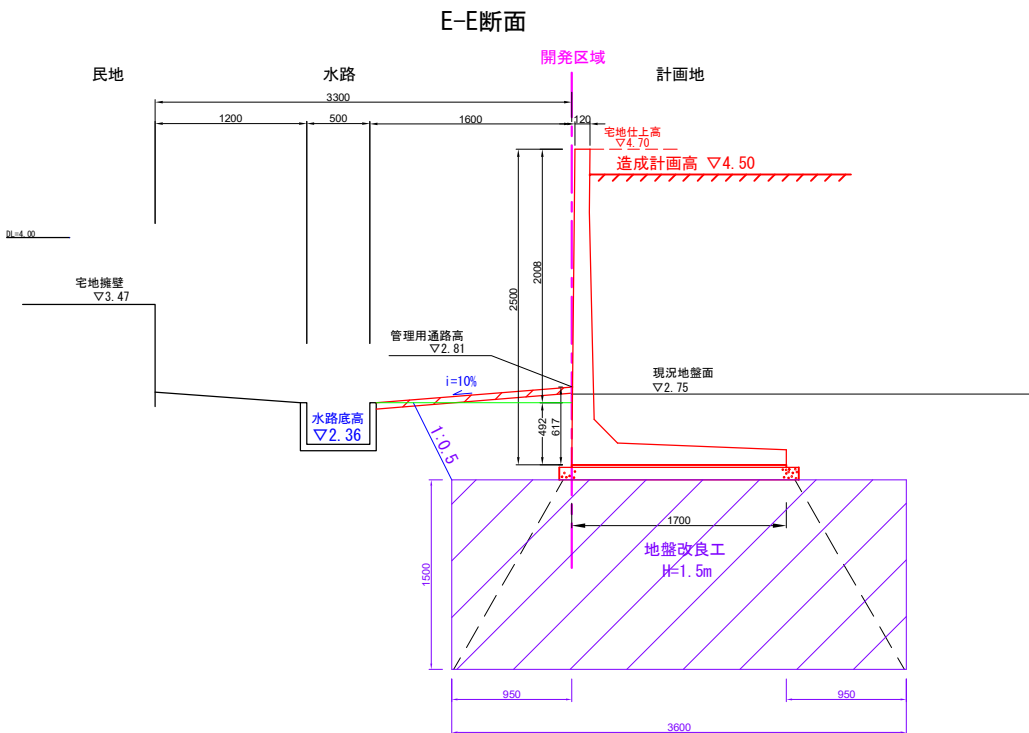
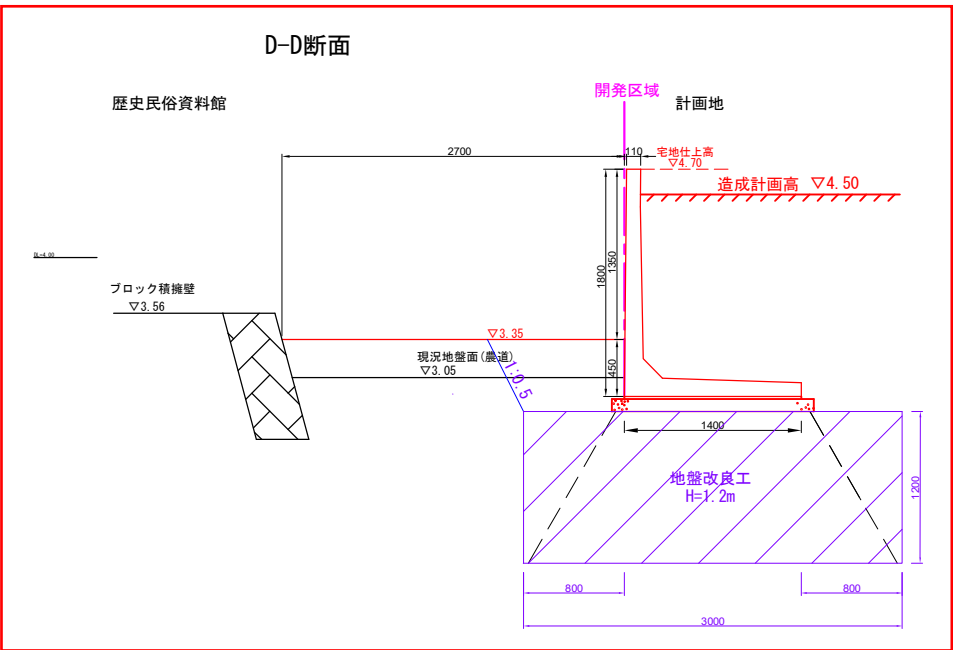
S=1:30(A1)

S=1:60(A3)

変更箇所



変更箇所

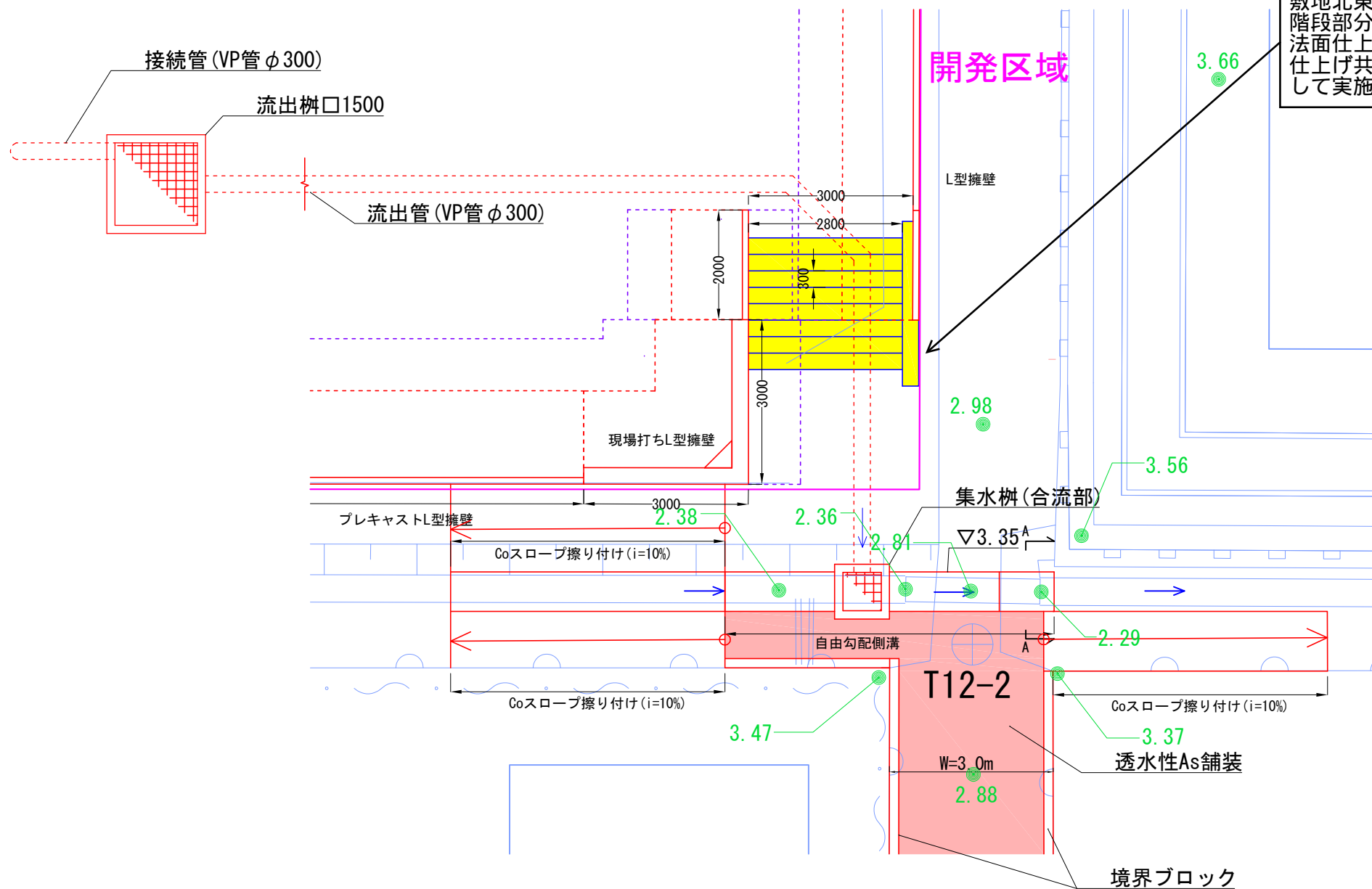


令和 6 年度	
工事名	工事
路線名	
箇所	羽咋市鶴多町 地内
図名	区域境界断面図
縮尺	S = 1 / 25 (A1) S = 1 / 50 (A3)
図番	6 / 枚の内
羽 咋 市	

放流部拡大図(A案)

S=1:50(A1)

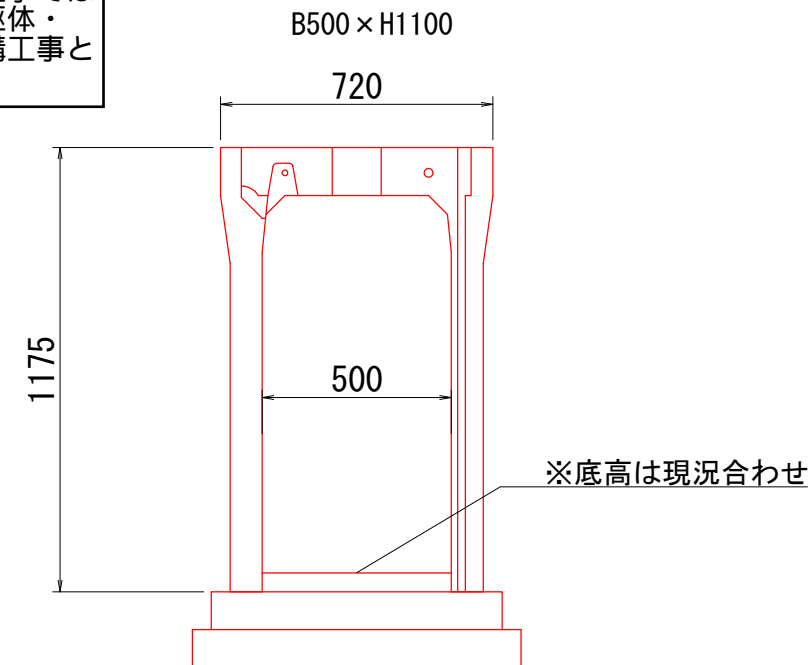
S=1:100(A3)



自由勾配側溝 構造図

S=1:10(A1)

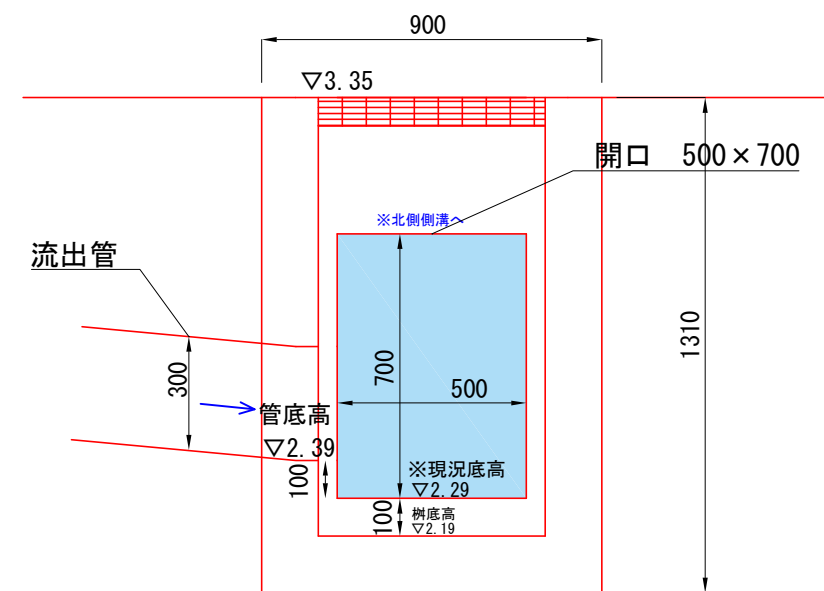
S=1:20(A3)



放流部断面図(A-A断面)

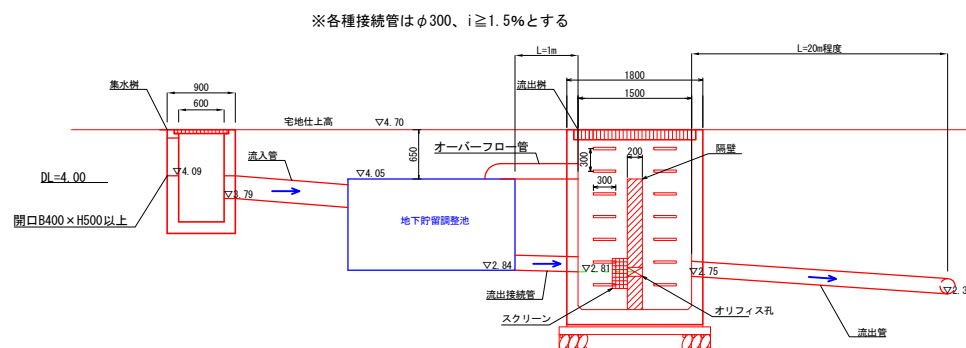
S=1:10(A1)

S=1:20(A3)



排水部展開図

S=Non Scale



【階段について】

敷地北東側から法定外公共物への階段部分については造成工事では法面仕上げとし、階段(躯体・仕上げ共)は本事業の外構工事として実施する。

令和 6 年度		
工 事 名	工 事	
路 線 名		
箇 所	羽咋市鶴多町 地内	
図 名	放流部詳細図 (A案)	
縮 尺	S = 図 示	
図 番	7 / 枚の内	
羽 咋 市		

